

～高速道路のストック効果～ [道央圏と道東圏の直結による効果]

- 道東自動車道は平成19年のトマムIC～十勝清水ICの開通以降、順次開通し、平成23年10月に夕張IC～占冠ICが開通したことで、道央圏と道東圏が高速道路によって結ばれました。
 - 移動時間が大幅に短縮となっただけでなく、気象条件の厳しい日勝峠を越える必要がなくなり、行き来する交通量は夕張IC～十勝清水ICの開通前と比較して約1.5倍に増加しました。
 - 道東地域では札幌から日帰りで行ける範囲が広がり、沿線観光地の観光客数が増加しているほか、観光地での滞在時間や日帰り観光の機会も増加しています。
- ※ストック効果:整備された社会資本が機能することによって、継続的および中長期的に得られる効果。

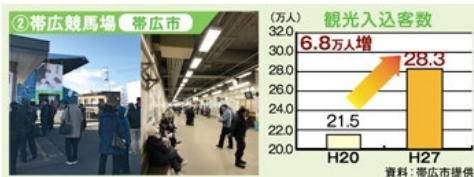
道東自動車道の開通による移動時間の変化

▼札幌市から池田町までの移動時間



※札幌市(札幌駅)⇒池田町(池田ワイン城)間の移動時間は、H22年道路交通センサスより算定

沿線観光地の観光客数の変化(H20⇒H27)



お客様の声

- 移動時間の短縮で、十勝・釧路が近くなり訪れる回数が増えました。(札幌圏在住者)
- 日勝峠を経由しないで十勝方面に行けるのは時間の節約だけでなく、肉体的にも精神的にも楽になり、十勝方面に出かける機会が増えました。(札幌圏在住者)